

公開講座

拓殖大学海外事情研究所 Institute of World Studies Takushoku University

国際講座

韓国の反日につけるクスリはあるか

セウォル号の事故で様々な矛盾が噴出し混乱する韓国。これまで韓国の反日に振り回されてきた感のある日本だがこの事故をきっかけに冷静な見方も広がりつつある。東アジア全体の動きの中で、韓国の反日をどうとらえるか、また日本はどうすべきか、「処方箋」を考えてみたい。

講師

荒木 和博

拓殖大学海外事情研究所教授

慶應義塾大学法学部政治学科卒業。民社党本部書記局を経て、1997年より拓殖大学海外事情研究所専任講師。2004年より現職。専門は南北朝鮮の政治・軍事および安全保障問題。現在特定失踪者問題調査会代表・予備役ブルーボンの会代表・国家基本問題研究所評議員などもつとめる。著書に『なぜ北朝鮮は崩壊しなかったのか』（光人社）、『日本が拉致問題を解決できない本当の理由』（草思社）など。



日時

平成26年 **5月24日** **土**

10:00受付開始 10:30~12:00

会場

C館2階C201教室

申込

年齢、所属、学歴を問わずどなたでもご受講いただけます。
聴講ご希望の場合は任意の用紙に①氏名（よみがな）②郵便番号 ③住所 ④電話番号をお書きのうえ当日会場にお持ちください。事前のご連絡は不要です。

受講料

1,000円(当日申込可)

※本学学生は無料

〔注意事項〕

- 都合により、テーマ・講演講師が変更になる場合があります。
- 携行品の盗難、紛失、破損などの責任は負いかねますので、ご了承ください。
- 車、バイク、自転車での来校はお断りいたします。各種公共交通機関をご利用ください。
- 次の行為はご遠慮いただいております（受講をお断りすることがあります）
 - 受講者・講師等に迷惑となるような行為
 - 録音、写真や動画撮影
 - 講義、講演の進行を妨げると思われる行為
 - 勧誘、宣伝広告

お問い合わせ:拓殖大学オープンカレッジ課 TEL03-3947-7166



拓殖大学
Takushoku University